

# 総務産業委員会

## 意見交換会報告書

実施先：犬鳴山観光振興会  
実施日：平成28年1月14日（木）  
午後1時～午後3時  
場 所：湯元 温泉荘

総務産業委員会

委員長 布田 拓也  
副委員長 辻野 隆成

## 犬鳴山観光振興会との意見交換会

平成28年1月14日（木）に犬鳴山観光振興会の温泉旅館を経営する方々との意見交換会を実施しました。4軒の旅館の代表の方がご出席くださいました。

大阪府内で唯一の温泉郷である犬鳴山温泉の今後について意見交換を行ないました。意見交換をする中で、話題は多岐に渡りましたが、様々な課題が浮き彫りとなり、現状を知る事ができました。意見交換の内容を下記に要約します。

### 現状について

- 《1》インバウンドの受け入れが8割ある旅館もあれば、2割に抑えているところもある。ネットを活用してからインバウンドが増えた。
- 《2》売上の半分が日帰り（旅館によって違いはある）
- 《3》犬鳴温泉としては素泊まりはあまり利益にならない。
- 《4》宿泊が観光に結びついておらず、素通りされているという印象を持つ。

### 課題について

- 《1》車の事故が多い。道が狭く、カーブが多い。
- 《2》金魚の放流などイベントで人は集まるが、駐車場が足りない。
- 《3》犬鳴山が素晴らしい景色だったと外国のネットで評判になっているが、そういったPRがまだ少ないのではないか。
- 《4》泉佐野市内に外国人宿泊者数は多いが、観光に活かせていない。
- 《5》旅館を増やそうと思えば、温泉を新たに掘らなければならない。
- 《6》2、3年前、民間事業者で道の駅を作る計画があったが、近隣住民が反対した。市が計画を立てなければ難しい。
- 《7》蛍がいなくなった。

要約すると以上ようになります。総務産業委員会では、この意見交換や視察を活かして、府内で唯一の温泉郷を泉佐野市の魅力として再確認し、課題解決や活性化につなげて参ります。